

TOPICS

建設予定地にて規模や周辺との関係性を確認し新たに気づいた事とは？
施設運営や防犯対策、休館時対応等、施設のソフト面についても議論！



平成30年4月28日(土)、キセラ川西せせらぎ公園管理棟セルフビルドプロジェクト「第3回(設計編)公園管理棟セルフビルドワークショップ」を開催しました。

今回のワークショップでは、第1回、第2回ワークショップでの意見を踏まえて作成したプラン案の大きさや周囲との関係性について、建設予定地で確認するとともに、1/25サイズの模型を使用して内部空間の広さや開口部の大きさなども確認し、プラン案の改善アイデアや新たに気づいた事などを話し合いました。



1/25サイズの模型



現地で模型も使用し規模感を確認



白線をひき開口や広さを確認



模型を覗きこみ内部空間の確認



現地確認を踏まえて班ごとに協議



班ごとの意見を全体で共有

INFO

第4回(設計編)公園管理棟セルフビルドワークショップのお知らせ

6月30日(土)10:00~12:00(場所:川西市役所202会議室)にて第4回を開催します。
ご興味を持たれた方は下記連絡先までご連絡ください。

お問い合わせ:川西市役所 土木部 キセラ川西推進課 担当:錦織、古山、松村(tel. 072-740-1207)

■開催概要

日時:平成30年4月28日(土)10:00~13:00

場所:消防署本部3階会議室

参加者:15名

次第:①開会あいさつ

②本日の進め方の説明

- ・本日の進め方の説明
- ・プランの説明
- ・第2回WSでの意見及び対応の報告
- ・市意向の説明

③現地確認

④ワークショップ

- ・プランの再説明
- ・意見交換
- ・発表
- ・武田先生講評

⑤閉会あいさつ



■ワークショップでの主な意見



子どもたちは管理棟の北側の里庭エリアにいるし、いまの建物の向きの方が子どもを見守る事ができてよいと思う。ただ、どろんこの子どもたちでも利用できるよう、汚れていても自由に遊べるスペースがほしい。

街のリビングの西側にあるポンプ設備が気になる。フェンスを小さくしたり化粧板などで隠すと圧迫感が軽減できると思う。



休日はシャッターが下りて閉館しているのは寂しい。誰でも出入りできるように、建物の一部の壁を無くしてパーゴラ型にすることで、休日でも管理棟を利用してもらえるのではないかと。

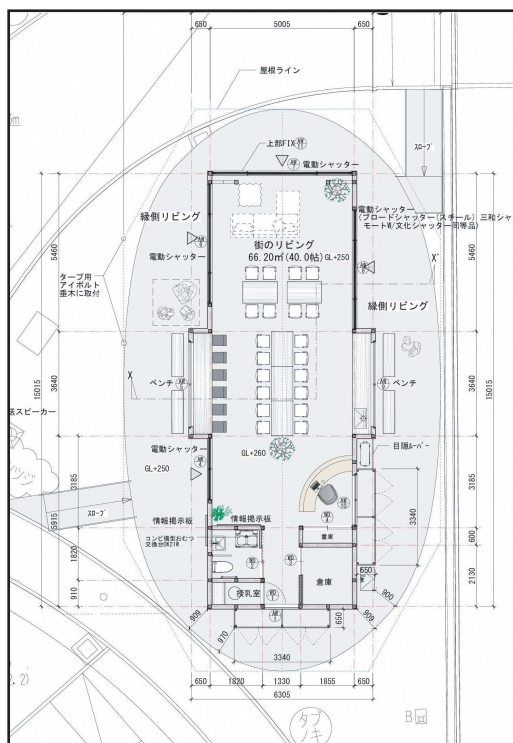
実際の運営を考えた場合、常駐者が1名ではトイレにも行くことが出来ない。最低2名は必要。そうすると、現状の常設カウンターにするのではなく、可動式の簡易なカウンターにすれば、レイアウトの自由度も高まり、臨機応変に対応できると思う。



今回提示してもらったプランはこれまでのワークショップの意見をうまく落とし込んでもらったと思う。



■第2回WSまでの意見を反映した想定プラン(案)



- ・全ての屋内空間が自由に使用できる案
- ・管理事務室スペースと共有スペースが1つの空間に配置
- ・サッシを設置し、どこからでも出入り可能
- ・屋内スペースも自由に立ち寄り可能
- ・授乳室あり
- ・屋外倉庫あり
- ・スロープあり
- ・木の風合いを活かしたデザイン

■武田先生のアドバイス



大阪府立大学
武田 重昭 先生

現地や模型で公園管理棟の大きさを確認したことで、新たな気づきがあったと思います。今回出てきたプランに対する意見を全て叶えるのは難しいと思いますが、あくまでも公園管理棟は「やりたいこと」を実現するきっかけとなる施設であることから、建物のデザインや広さについてはプロに任せ、公園管理棟でどのようなことをやりたいか、実現するにはどのような行動が必要か等を今後考えていきましょう！

■ワークショップのまとめ

今回は建設予定地で公園管理棟の大きさや周辺施設との関係性について確認しましたが、「敷地内にあるポンプ施設が気になる」や「授乳室をもう少し広く」等、現地で新たに気づくことも多くありました。

また、閉館時でも使用できるように公園管理棟の一部を半屋外空間とする等の新たな提案もあり、今回のワークショップの意見を踏まえ、再度プランをブラッシュアップし、次回のワークショップでは最終プランを報告する予定です。(※参加者へは事前に中間報告予定)

■今後の予定

【第4回】平成30年6月30日(土)10:00~12:00 場所:市役所2階202会議室